

出題傾向	年度	大問1	大問2	大問3	大問4
	28	☆小説—ざくろ ・情景の読み取り ・記述(心情把握) ・表現方法の説明 ・適文補充(選択) ・空欄補充(心情把握)	☆論説文—古典論 ・漢字の書き取り ・接続語の選択 ・抜き出し(表現) ・図の説明 ・適文補充	☆古文—「去来抄」 ・記号選択(内容把握) ・現代仮名遣い ・空欄補充(内容把握)	☆作文—資料 ・生徒発言の役割 ・作文200字
	29	☆小説—或る朝 志賀直哉 ・漢字の書き取り ・記述(心情把握) ・生徒議論(適語補充) ・適語補充 ・生徒議論(記述)	☆論説文—鷲谷いづみ ・漢字の読み取り ・記述(内容把握) ・抜き出し(適語補充) ・接続語の選択 ・図の説明 ・生徒議論(記述)	☆古文—「十訓抄」 ・記述(内容把握) ・現代仮名遣い ・記号選択(内容把握) ・生徒議論(内容把握)	☆作文—資料 ・家庭における災害への備えの状況 ・作文250字
	30	☆小説—白鳥 三島由紀夫 ・漢字の書き取り ・記述(心情把握) ・生徒議論(適語補充) ・適文選択 ・適文補充 ・生徒議論(記述)	☆論説文—「読む心・書く心」 ・熟語の構成 ・記述(内容把握) ・図の説明(適語補充) ・指示語の説明 ・段落の構成 ・生徒議論(記述)	☆古文—「沙石集」 ・選択(内容把握) ・現代仮名遣い ・空欄補充(内容把握) ・生徒議論(内容把握)	☆作文—資料 ・古典を学ぶ意義とは ・作文250字以内

出題予想	文学的文章(小説・随筆)	説明的文章(論説文)	古文	作文
出題傾向と対策	近年問題文の文字数3000字～3500字程度に生徒の会話500～700字程度が加わっているため時間配分に要注意です。最近は大正～昭和初期にかけての作品を題材とした出題が多く、語句の意味が読み取りにくくなっています。登場人物の心情を動作・台詞・情景描写によって読み取る練習をしましょう。記号選択問題は文章中にある答えもしくは答えとなる根拠を確認して、同じ内容が書いてあるものを選ぶという解き方をしましょう。記述問題については文章中の語句を使って文章をまとめる練習をしましょう。生徒同士による議論の流れに沿って意見を考える問題は記述量も多く求められているので注意が必要です。漢字の読み書きの問題は出題数が減り、内容理解に関する問題が増えています。最新傾向にしっかり対策しておきましょう。	論説文では、毎年記述問題が多く出題されています。ここ数年は、設問文、生徒のコメント文もあり、出題文の字数が3500字程度と長くなっており、速読の力が必要です。内容を図示した問題もされています。新傾向の問題に応じた練習をしておきましょう。近年の記述問題は、答えが本文中に書いてあるものではなく、キーワードを文又は段落全体から探し形式や字数に合わせてまとめて答える形式になっています。昨年は全文体の要旨をまとめる問題が出題されました。熟語の構成についての言語事項の知識、コミュニケーション能力、長文読解力、表現力など幅広く国語の総合力が問われます。4年分の過去問などを利用し、できる限り新傾向に合わせた対策をし、時間配分に気をつけて練習してください。	ここ数年漢文は出題されていませんので要注意です。漢文を書き下したり、返り点をつけたりという基礎練習を必ずしておきましょう。古文は20行程度と少し長めの出題文となっています。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題は毎年出題されています。「傍線部をすべて平仮名に直して……」「傍線部の平仮名の部分だけ……」「傍線部を……」きちんと出題形式に合わせて答える練習をしておきましょう。古文を読んで意味が読み取りにくいという場合は、設問を読みながら全体を理解するようにしましょう。古文においても生徒同士の議論、グループによる話し合いに関する問題が出題されます。全体的に文章量が多くなっているため気をつけてください。熟語の構成、掛詞、枕詞などの言語事項も要チェックです。	今年は250字以内の作文が出題されました。テーマが新聞の投書となり、これまでのグラフや図と異なります。読む文章の文字数が多くなっているのが注意点です。出題される資料も複数あります。生徒同士が議論する対話文が出題される可能性もあります。また条件に従って作文しなければなりませんので、その時間配分は十分考慮しなければなりません。過去問や模擬試験など新傾向問題を時間内に解く訓練が必要です。作文は厳密な採点基準による採点が難しいと思います。字の丁寧さ、大きさ、濃さ、文章の構成、要旨などを意識しながら練習しましょう。書く技術は公立高校選抜Ⅰ試験の小論文に限らず、選抜Ⅱの国語やその他の科目にもますます必要になりました。自己採点が難しいポイントです。

出題傾向	年度	大問1	大問2	大問3	大問4	大問5	大問6	大問7	大問8
	26	○数・式の計算	○平面図形(角度) ○平面図形(おぼろげの証明) ○2次関数(比例定数) ○場合の数	○空間図形(表面積) ○確率 ○1次関数(傾きの範囲) ○文字式(説明)	○平面図形 ・線分の長さ	○統計 ・ヒストグラム	○1次関数・反比例 ・直線の式 ・三角形の面積	○円 ・相似の証明	
	27	○数・式の計算	○平面図形(角度) ○反比例(値) ○確率(カード)	○平面図形(角の大きさ) ○空間図形(回転体の体積) ○平面図形(線分) ○文字式(説明)	○関数 ・ダイヤグラム	○統計 ・標本調査	○2次関数 ・変域 ・座標	○三角形・四角形 ・合同の証明	
	28	○数・式の計算	○式の値 ○空間図形(平行) ○反比例(立式) ○統計(最頻値)	○空間図形(体積) ○確率(さいころ) ○2次関数(変化の割合)	○関数 ○文字式(説明) ○関数(グラフ)	○平面図形 ・作図 ・直角の作り方(説明)	○2次関数 ・比の値 ・値の変化(説明)	○1次関数 ・座標 ・面積分割	○三角形・四角形 ・内接四角形の証明
	29	○数・式の計算 ○1次関数(グラフ) ○統計(中央値) ○平方根(無理数)	○平面図形(角度) ○1次関数 ○空間図形(おぼろげの位置) ○標本調査	○方程式 ○確率(カード) ○文字式(説明)	○平面図形 ・三平方の定理(説明) ・面積	○2次関数 ・立式 ・線分の長さ	○反比例 ・座標 ・三角形の面積	○三角形・四角形 ・合同の証明	
	30	○数・式の計算 ○方程式 ○平面・空間図形 ○近似値	○確率 ○比例 ○文字式(説明)	○平面図形	○1次関数	○2次関数 ・線分の長さ ・直線の式	○円 ・角の大きさの証明		

出題予想	○数・式の計算 ○関数・図形・統計 (基本問題)	・関数 ・方程式 ・確率	・平面図形 ・統計 各単元から1題ずつ	・空間図形 ・数の性質	○関数・数量関係 ○平面・空間図形 ○統計	○三角形・四角形・円 ・合同または相似	ここ数年、長文による問題が出題されています。問題文をよく読み、題意を正確に読み取る必要があります。難易度はそれほど高くありませんが、題意を読み取れず不正解になるケースも多いようです。過去問などを利用し、長文の問題になれておきましょう。
出題傾向と対策	<p>27年度から計算問題が8題から4題に減りましたが、ここをミスなく得点することが重要です。式の計算・連立方程式・平方根・2次方程式を中心に、基本的な問題を正確に解けるよう練習しておきましょう。また、教科書レベルの基本的な内容が中学数学全般から出題されます。ただ、文字式を利用して説明する問題がよく出題され、受験生にとっては解きにくい問題となっているようです。教科書の例題等を確認し、表現方法に慣れておきましょう。確率・統計・平面図形の角度の問題は、比較的得点しやすいので、基本問題を中心に練習しておきましょう。また、数の性質に関する問題が出題されることもあります。参考書や問題集を利用し、いろいろな問題にあたり、題意を正確に読み取る練習をしておきましょう。</p> <p>数学はここ数年、難問が減り、基本問題～標準問題が中心になっています。ポイントは、大問1の計算問題と、各大問の基本問題です。難しい問題に時間をかけるより、基本問題にしっかり時間をかけ確実に得点できるようにしましょう。</p>				<p>関数においては、立式、座標、線分の長さ、面積に関する問題がされることが多いので、比例・反比例を含め、関数の基本をマスターしておきましょう。図形との融合問題もよく出題されるので、図形の基本的性質も押さえておきましょう。図形分野では、作図方法の説明が出題されることがあります。単に作図するだけでなく、その方法を説明できるように練習しておきましょう。統計に関する基本的な問題も復習しておいてください。</p> <p>円に関する定理・三角形、四角形の性質・合同、相似条件をまとめ、証明に慣れておきましょう。</p>		

過去問題から傾向を探る	年度	大問1	英語聞き取り検査	大問2	図表などを用いての対話文	大問3	長文読解	大問4	日常生活のコミュニケーション
	28	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して、答えを4択から選ぶ。 B 80語程度の英文が放送され、その内容に関してあなたの考えをまとめる。空欄に適語を補充して英文を完成させる形式での出題。		1 英文内容に関して日本語で説明 2 適語選択 3 適語を補充して後付の英文を完成 4 本文の内容を踏まえて、あなたの考えを25語程度の英文で答える。		1 英問英答 2 適切な文の選択 3 適語を補充して後付の英文を完成 4 本文の流れに沿って英文並べ替え 5 本文の内容を展開し、後付の文中にあなたの意見を英文で書く。		資料の図表をもとに、対話文中の空欄に適切な英語を書いて、対話を完成させる。 時刻表と地図を元に外国人に道を教える。	
	29	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して、答えを4択から選ぶ。 B 80語程度の英文が放送され、その内容に関してあなたの考えをまとめる。空欄に適語を補充して英文を完成させる形式での出題。		1 適語(数字)選択 2 適文選択 3 自分の意見を英文で書く 4 適語補充 5 指示代名詞が指す内容を日本語で書く 6 会話文の空欄に合う英文を作る		1 英問英答 2 適語補充 3 筆者の感情が生じた理由を日本語で書く 4 内容と一致する英文を選択 5 質問に対する自分の考えを英文で書く		送信されたメールについて、資料として掲載されている写真とタイムテーブルを参考に返信する内容を英文で書く	
	30	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して、答えを4択から選ぶ。 B 80語程度の英文が放送され、その内容に関してあなたの考えをまとめる。空欄に適語を補充して英文を完成させる形式での出題。		1 適語(数字)補充 2 指示語の指す内容を日本語で答える 3 指示語の指す内容の英文選択 4 適文選択 5 適語を補充して英文を完成		1 英問英答 2 空欄の適語補充選択問題 3 筆者の感情が生じた理由を日本語で書く 4 語群整序問題 5 長文の空欄への適文補充 6 内容一致問題 7 会話の内容に合う内容になるような英作文		プレゼンテーション内容をまとめるための原稿を英文で作成する	

出題予想	英語聞き取り検査	図表などを用いての対話文	長文読解	コミュニケーション
出題傾向と対策	A 放送される対話は、比較的短いものと予想されるので、与えられた選択肢を確認の上、質問内容をある程度予想し準備することが必須。メモは極力取らずに聞く事に集中したほうがよい。	1 適語選択 2 指示代名詞の指す内容を説明 3 適文選択 4 適語補充 5 会話文の空欄に適する英作文	1 英問英答 2 適文選択 3 適語補充 4 原因と結果に関する質問(Why~?) 5 あなたの考えを英語でまとめる	資料と図表をもとに、質問された内容について適する答えを英文で書く
	B 先生の質問に対して英文で答える問題。基本的にこのような問題は減点法なので、難しい英文を書くこととはせず、短文で聞きなれた語句を極力使い、ミスを防ぐ解答を心がけるように。	☆ 英作文(部分英作文、自由英作文、条件英作文)は大問1B 大問2 大問3 大問4 全てに出題されます。相手に正しく伝える英文を書くことができるように、 <u>基本的な英文法の理解</u> が必要です。短文でミスを無くす事が大事です。 普段から単語をしっかりと書いて覚えるように心がける事です。 ☆ 対話文と長文は、内容について総合的に理解した上で、自分の意見を英作文する高度な問題も出題されそうです。特に上位校受験予定の場合は、そのための練習も必要になるでしょう。		

年度	物理			化学			生物			地学		
	光・音・熱・力	電流とその性質	運動とエネルギー	物質の変化	化学変化と原子	物質とイオン	植物の生活と種類	動物の生活と種類	生物のつながり	地球と太陽系	天気とその変化	大地の変化
25	◎PETとポリエチレンの浮力	◎電流 ●電気抵抗の計算 ●温度変化のグラフ ●上昇温度の計算		◎気体の発生 ●酸素の発生方法 ●温度計の見方 ◎密度 ◎有機物の記述	●化学反応式	◎燃料電池			◎生殖・遺伝 ●無性生殖の特徴 ●DNA ●花粉管の記述 ●遺伝の比率		◎天気 ●気圧の単位 ●雲画像 ●梅雨前線と気団 ●冬の天気図	
26	◎光 ●屈折角の性質 ●全反射の記述 ●反射 ●反射の像				◎分解 ●炭素の原子記号 ●炭酸水素ナトリウムの分解 ●原子モデル ●単体の記述		◎植物の種類 ●コケ・シダ植物の特長 ●被子植物の特長 ●光合成のはたらき	◎動物の種類 ●哺乳類の特長 ●相同器官と進化	◎食物連鎖 ●生産者 ●有機物・無機物の流れ ●化石燃料 ●分解者の実験	◎天体 ●衛星 ●月の満ち欠け ●金星の満ち欠け		
27		◎電磁誘導 ◎消費電力	◎力と仕事 ●力のつり合い ●仕事(動滑車) ●仕事の原理 ◎熱の伝わり方 ◎移り変わり	◎水溶液 ●溶質・溶媒 ●溶解度 ●溶解度の計算		●イオン		◎ヒトのはたらき ●消化のはたらき ●消化の対照実験 ●排出系				◎堆積岩・火成岩 ●風化 ●堆積岩の特徴 ●等粒状組織 ●岩石の種類
28	◎力のはたらき ●グラフの作図 ●浮力の実験考察 ●重さと質量			●溶質・溶媒の計算	◎化学変化 ●発熱反応 ●実験比較 ●実験考察		●植物の種類 ●顕微鏡の性質		◎減数分裂 ●成長のしくみ ●観察考察	◎天体 ●日周運動 ●太陽の影の動き ●各季節による角度 ●各季節による熱量 ●グラフの読み取り		
29	◎光のはたらき ●光の性質 ●焦点の作図 ●焦点距離を求める ●虚像 ●像の大きさ	●回路図		●有機物		◎イオン ●化学電池の電極 ●酸性の性質 ●化学電池の選択 ●実験考察	●胚珠		◎遺伝 ●無性生殖の特徴 ●遺伝のしくみ ●遺伝子の変化 ●観察考察		◎天気 ●天気記号 ●湿度の計算 ●乾湿計の問題 ●対照実験	
30	●音の伝わり		◎運動・力 ●分力の作図 ●力のつり合い ●実験考察 ●力がはたらく運動 ●力学的エネルギー	◎気体の発生 ●気体の集め方 ●実験考察	●燃焼の説明 ●化学変化の説明 ●化学反応式のモデル図		◎人体とはたらき ●神経の反応 ●感覚器官 ●観察考察	●生産者のはたらき				◎地震 ●震度の説明 ●地震計のしくみ ●地震波の速さ計算 ●観察考察 ●プレート動き

○:大問としての出題 ●:小問としての出題 ◎:総合問題としての出題

分野別出題傾向	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
分野別出題傾向	力学・電流・磁界の単元から、計算問題が非常に多く出題されやすい傾向があります。また、グラフや表を読みとったうえで、その数値をもとに解いていくパターンが多いので、幅広い計算力が重要になります。電流のグラフや図を書かせる問題も出題されやすいところです。	物質の変化、化学変化ともに1つの実験を通して出題されることが多いようです。化学式や化学反応式などはもちろんのこと、実験時の手順や器具、操作上の留意点などを問う問題が出題されやすくなります。また、計算問題や文章で答える問題も出題されやすいのが特徴です。	観察・実験を通して出題されるパターンが多いため、内容としては、語句など基礎的な知識を問われる問題から、観察の仕方や実験内容について文章で答える問題まで、幅広く出題される傾向があります。	図・表・グラフなどを読みとって答える問題が出題されています。そのため、丸暗記ではなく、系統だった理解が必要となっています。受験生が苦手とする単元がそろっているため、この分野の克服が高得点のポイントになります。
対策	計算問題に備えて、公式の暗記や繰り返しの問題演習が必要ですが、それ以上に、法則や原理の理解が大事になります。図やグラフの読みとり、また、単位や作図については、よく確認しておきましょう。	教科書に載っている実験は、一通り、目を通しておいた方がよいと思われます。暗記しなければならない部分も多いですが、全体的な関連性を忘れないようにしてください。実験器具操作の留意点は特に注意しましょう。	植物・動物・生物のつながりの各単元を分類したり、実験の手順や結果を一つずつ暗記していくことが大切です。文章で答える問題も出されやすいので、実験手順や結果などの整理が必要です。	図を書いて整理していける内容が多いので、学習したことを自分なりにまとめてみましょう。自分の問題点を明確にすることにもつながります。自分なりにポイントを絞ることも大切です。
ポイント単元	電流と磁界、音	化学変化、水溶液	植物のはたらき、食物連鎖	天体、火山・地層

	年度	歴史	地理		公民				論述
			世界地理	日本地理	日本国憲法	政治	経済	国際	
出題傾向	24	並び替え	時差 気候 貿易 年齢別人口 農業		労働の権利と義務		経済の循環 財政	ASEAN	5題
	25	年表	鉱産資源	経線・気候・産業 地形図・公害		内閣・裁判 所地方分権	独占 社会保障	NAFTA	5題
	26	年表		地形図		国会・内閣	為替 社会保障	ECの貿易	5題
	27	並べ替え(カード)	正距方位図法 貿易・資源	九州地方 資源と輸入 人口ピラミッド	女性と仕事	地方交付税 直接請求権	消費支出	環境	8題
	28	対話文+資料	国の位置・食料生産・貿易・漁業			国債 地方財政	為替・財政	宗教	13題
	29	対話文+資料	国土の特徴・降水量・川・災害対策		国民投票	国債 地方財政	家計・企業		17題
	30	時代区分(カード)	産業別人口・貿易・時差・過疎		効率		消費生活		16題

出題予想	歴史	世界地理	日本地理	効率と公正	国会・内閣	家計・企業	国連・EU	17題
出題傾向と対策	<p>例年大問2で記述形式の問題が中心の出題が中心となっていますが、昨年は大問4で1題出題されました。資料を読み取って理由を答える問題、対話文の中から説明する問題が出題されます。いずれも歴史的な背景が知識として備わっていれば書きやすいと思われます。各時代の出来事が説明できるようにしておきましょう。</p>	<p>29年度は大問1で日本地理、大問4の融合問題でも日本地理が出題されました。30年度は大問1で世界地理(インドの産業)、大問4の融合問題の中で日本地理(地域のつながり)の資料や図表をもとにした記述問題が出題されています。例年、世界地理については各国の特徴からさまざまな事象を問う問題、日本地理では農地や漁業・自然環境・地形に関する問題が出題されています。地理に関して過去の傾向からすると、工業に関する問題や気候また人口問題に関する問題が出題される可能性が高いと予想されます。記述問題に多くの時間を割くことができるようにするためにも、基本的な語句の理解を基にした学習が必要です。</p>	<p>昨年度、大問3は4題の記述問題が出題され、家計・企業分野から出題されています。これまでの記述問題の中には、資料を読み取ってその特徴を答える問題だけでなく、地域の問題解決をどのように図っていくのがよいか、そのために必要なアンケートの項目について答えるなど、事前の対策が難しい問題も出題されています。問題文や課題文などを正確に読み取る練習を日頃から積んでおきましょう。地理や公民の分野の中で「効率と公正」の考えを問う出題も新しい傾向となっています。偏った分野を学習するだけでなく、常に各分野が融合して出題されることを意識した学習が必要です。理由を問われたときに正しい用語を用いて正確に記述できるよう準備を行いましょう。</p>	<p>記述問題は年々増加する傾向にあります。時間との勝負です。練習をしっかりとしましょう。質問に対する的確な答えが簡潔に書けているかを意識して練習しましょう。</p>				